

令和2年7月発行

# 全篤連だより

No. 34

発行所

(公財)全国篤志面接委員連盟

〒165-0026

東京都中野区新井3-37-2

電話 03-3389-9494

## 目次

新旧会長挨拶	役員・評議員一覧表	16
南野知恵子前会長	令和2年度第5回国内交流研修旅行の	
岩城光英新会長	中止のお知らせ	17
令和元年度第3回理事会(定時)	令和2年度全国及び各矯正管区内	
令和元年度第2回評議員会(臨時)	研修協議会の開催予定	18
令和2年度第1回理事会(定時)	賛助会員名簿	19
令和2年度第1回評議員会(定時)	東 西 南 北	21
令和2年度持回り理事会	全国篤志面接委員連盟副理事長 渡辺 道代	
令和元年度の事業報告及び決算報告	事務局から	23
令和2年度の正味財産増減予算書	雑記帳	23

## 新旧会長挨拶



### 退任にあたって

公益財団法人全国篤志面接委員連盟 前会長 南野 知恵子

かつてない広がりを見せている新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが容易に見えてこない状況にあります。全篤連の会員の皆様には、お変わりなくお元気にお過ごしのことと存じます。

今般、一身上の都合によりまして全篤連の会長を辞任させていただくことといたしました。齢を重ねるごとに心身とも思うようにならず、これ以上皆様にご迷惑やご心配をおかけすることは大変心苦しく感じた次第です。7年弱の期間でありましたが、役員の皆様をはじめ、会員の皆様に温かいご支援をいただきましたことを心から感謝申し上げます。

私自身は、美祢社会復帰促進センターに所属し、センターの教育行事等の際に時折り参加させていただきました。また、毎年の全国研修大会や地方研修会、国内交流研修にご一緒させていただきましたが、お会いする会員の皆様は、民間人の立場から刑事施設や少年院に収容され

ている様々な問題を有する人たちに対して直接面接指導され、これらの人たちの社会復帰を支援しておられまして、皆様のボランティア精神とご努力には頭が下がる思いがいたしました。

時代が平成から令和へと変わり、また、それとともに社会環境や犯罪・非行のありようも変わっていくものと思いますが、しかし、どのような時代であっても、過ちを起こす者が決して皆無となることはなく、また、支援を必要とする者がなくなることもないと思います。会員の皆様には、これからもお一人お一人のお力を発揮していただき、再犯・再非行のない社会復帰の実現に引き続きご尽力いただきますようお願いいたします。

最後に、会員の皆様のご健勝を心から祈念し、御礼とさせていただきます。



## 就任にあたって

公益財団法人全国篤志面接委員連盟 新会長 岩城 光 英

全国の矯正施設におきまして、被収容者に対する面接指導を通じてその社会復帰に貢献されている皆様に敬意と感謝を表します。

この度、全国篤志面接委員連盟の発展に貢献された南野知恵子前会長のご退任を受け、後任として会長に就任いたしました。微力ではありますが、最善を尽くしその任に当たる所存ですので、どうかよろしく願いいたします。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響によって篤志面接活動も本来の姿に戻るまでに至っていないと聞き及んでいます。あらゆる社会経済活動が感染症の影響で休止や縮小に追い込まれてしまい、我が国はこれまでにない厳しい境遇に立たされております。しかし、私達にはどのような逆境においても再び立ち上がり新しい時代を切り開いてきた歴史があります。再び、皆様の活動が輝く時が間違いなくやってくると信じております。

私自身は、これまで矯正施設の教育処遇に深く関わったことはありませんが、役員の皆様、関係機関の皆様、そして何よりも会員の皆様のご理解とご協力を得ながら連盟の運営に力を尽くしてまいる所存です。何卒、よろしくお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

## 令和元年度第3回理事会(定時)

令和2年3月19日に予定されていた第3回理事会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったため、定款第46条(決議の省略)の方法により理事長が決議を要する議案を提案したところ、全理事の同意及び監事2名の承認が得られた。3月18日に決議があったとみなされた主な議案は次のとおり。

### 議案1 人事の件

— 南野知恵子会長(評議員)の辞任と後任として岩城光英氏の評議員就任を承認するとともに、国の評議員2名の春の異動に伴い、後任評議員2名を充てることを承認し、それぞれ原案どおり評議員会に諮ることとされた。

### 議案2 令和2年度事業計画及び収支予算案の件

— 新年度の事業計画とこれに必要な収支予算案(正味財産増減予算書)について、原案どおり承認。

### 議案3 報酬規程の一部改正の件

— 昨年実施された内閣府の立入り検査における指導を受け、報酬額が外税であることを明記する改正案について、原案どおり承認。

### 議案4 講師等謝金に関する規程制定の件

— 昨年実施された内閣府の立入り検査における指導を受け、新たに規程を整備することについて原案どおり承認。

### 議案5 印章取扱規程制定の件

— 昨年実施された内閣府の立入り検査における指導を受け、新たに規程を整備することについて原案どおり承認。

### 議案6 リフレッシュ研修の導入の件

— 15年以上の経験のある篤志面接委員に対するリフレッシュ研修を令和2年度から導入することについて原案どおり承認。

### 議案7 次回理事会開催の件

— 令和2年度第1回理事会(定時)を5月21日(木)に開催することについて、原案どおり承認。

報告事項 前回理事会以降の理事長等の職務執行状況について報告書が送付された。

## 令和元年度第2回評議員会(臨時)

令和2年3月19日に予定されていた第2回評議員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったため、定款第25条(決議の省略)の方法により理事長が決議を要する議案を提案したところ、全評議員から同意が得られた。3月26日に決議があったとみなされた主な議案は次のとおり。

### 議案1 人事の件

- 南野知恵子会長(評議員)の辞任と後任として岩城光英氏の評議員就任を承認するとともに、国の評議員2名の春の異動に伴い、後任評議員2名を充てることについて、それぞれ原案どおり承認。

### 議案2 報酬規程の一部改正の件

- 昨年実施された内閣府の立入り検査における指導を受け、報酬額が外税であることを明記する改正案について、原案どおり承認。

### 報告事項 (1) 令和2年度事業計画及び収支予算案の件

- (2) 講師等謝金に関する規程の制定の件
- (3) 印章取扱規程の制定の件
- (4) リフレッシュ研修導入の件
- (5) 代表理事、執行理事の職務執行状況

## 令和2年度第1回理事会(定時)

令和2年5月21日に予定されていた第1回理事会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったため、定款第46条(決議の省略)の方法により理事長が決議を要する議案を提案したところ、全理事の同意及び監事2名の承認が得られた。5月25日に決議があったとみなされた主な議案は次のとおり。

### 議案1 人事の件

- 今年度は理事・監事の改選の時期に当たっているところ、2人の理事から一身上の理由により退任の申し出がなされたため、その退任とこれに伴う後任予定者の選任を評議員会に諮ることについて、原案どおり承認。

### 議案2 令和元年度事業報告及び収支決算の件

- 監事による監査結果報告も受け、原案どおり承認。

### 議案3 令和2年度公益財団法人JK Aの補助金を受け入れる件

- 原案どおり承認。なお、本年度においては、昨年度と比較して108万5千円多い1,243万6千円の内示があった。

### 議案4 定時評議員会召集の件

- 令和2年6月16日（火）法務省において開催すること、ただし新型コロナウイルス感染症の拡大・終息状況によってその開催が困難となる場合には理事長に一任することを承認。

報告事項 代表理事等の職務執行状況に関する報告書を送付。

## 令和2年度第1回評議員会(定時)

令和2年6月16日に予定されていた第1回評議員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となったため、定款第25条（決議の省略）の方法により理事長が決議を要する議案を提案したところ、全評議員から同意が得られた。6月16日に決議があったとみなされた議案は次のとおり。

### 議案1 人事の件

- 今年度は理事・監事の改選の時期に当たっているところ、2人の理事から一身上の都合により辞任の申し出がなされたため、その退任とこれに伴う後任予定者の選任について、原案どおり承認。

### 議案2 令和元年度事業報告及び収支決算の件

- 監事による監査結果報告も受け、原案どおり承認。

報告事項 (1) 令和2年度公益財団法人JKAの補助金を受け入れる件  
(2) 代表理事等の職務執行状況に関する報告

## 令和2年度持回り理事会

6月16日の評議員会決議を受け、大川理事の提案によって理事長（代表理事）及び常任理事等の選任について定款第46条（決議の省略）の方法により同意及び承認を求めたところ、提案した原案について全理事の同意及び監事2名の承認が得られた。6月22日に決議があったとみなされた議案は次のとおり。

### 議案 人事の件

- 1 室井誠一を理事長（代表理事）に選定する。
- 2 渡辺道代を副理事長（執行理事）に選定する。
- 3 富樫厚治、徳力賢隆、佐藤良彦、宮田修、大川哲次、岩見屋健、前田直子、松田良太を常任理事に選定する。

# 令和元年度の事業報告及び決算報告

## 令和元年度 事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

### (研修事業関係)

#### 1 全国篤志面接委員大会（中央研修会）を開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中央	中央研修会 令和元年10月10日(木) 法務省地下大会議室 参加者172名 (委員129名, 関係者43名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「刑事司法制度改革と再犯防止」 慶應義塾大学法学部教授 太田達也 氏</li> <li>・研究発表者 4名</li> <li>・パネルディスカッション 進行 連盟 阿部理事 参加者 発表者4名 国職員2名 府中刑首席 伊藤真名世 氏 多摩少首席 森 浩彰 氏</li> </ul>

#### 2 矯正管区管内篤志面接委員研修協議会を開催した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
札幌	令和元年7月30日(木)・31日(金) 網走市 オホーツク文化交流センター 参加人員101名 (委員50名, 関係者51名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「近代的自由刑の成立と監獄の誕生」 博物館網走監獄副館長 今野久代 氏</li> <li>・班別討議 刑事施設5グループ 少年施設1グループ</li> </ul>
仙台	令和元年6月28日(金) 盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡 参加人員111名 (委員51名, 関係者60名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「縄文遺跡の世界遺産登録について～御所野遺跡を中心として」 御所野縄文博物館長 高田 和徳 氏</li> <li>・研究討議 討議題「対象者の心を動かす篤志面接活動」 刑事施設と少年施設に分け, 活動内容によっても分けて研究討議</li> </ul>
東京	令和元年11月26日(火) さいたま市 さいたま新都心合同庁舎5階共用大会議室 参加人員177名 (委員105名, 関係者72名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「少年矯正の一考察～私たちにできること～」 公益財団法人矯正協会 矯正研究室長 松田美智子 氏</li> <li>・研究発表 2名</li> <li>・グループ討議：12グループに分け全員参加</li> </ul>

名古屋	令和元年10月29日(火) 名古屋市 ホテルブラ玉山 参加人員117名 (委員76名, 関係者41名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「話すこと伝えること」 タレント・ラジオパーソナリティ つボイノリオ 氏</li> <li>・分科会討議 8グループに分かれ, 大会テーマに沿って討議</li> </ul>
大阪	令和元年6月20日(木) 明石市 ホテルキャッスルプラザ 参加人員184名 (委員110名, 関係者74名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「命について考える～動物愛護から育む自己を肯定する心～」 児童文学作家 今西乃子 氏</li> <li>・研究発表者 3名</li> </ul>
広島	令和元年10月24日(木) 広島市 ホテルメルパルク広島 参加者89名 (委員49名, 関係者40名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「心療内科医が教える心を病んだ人たちとの関わり方」 医療法人ハンス理事長 長井敏弘 氏</li> <li>・研究発表者 2名</li> </ul>
高松	令和元年11月25日(月) 善通寺市 旧善通寺偕行社 参加者66名 (委員35名, 関係者31名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「自己理解・他者理解を深めるコミュニケーション」 高知大学大学院教授 岡田倫代 氏</li> <li>・研究発表者 2名</li> </ul>
福岡	令和元年11月20日(水)・21日(木) 福岡市 オリエンタルホテル福岡 参加者159名 (委員89名, 関係者70名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「社会福祉の現状について」 公益社団法人福岡県社会福祉会会長 百枝孝泰 氏</li> <li>・分科会 2分科会5テーマに分け, 全員参加の上討議</li> </ul>

### 3 初任者研修を実施した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
中央	初任者研修会(第6回) 令和元年12月19日(木)・20日(金) 法務省大会議室 参加者72名 (委員63名, 関係者9名)	<p>一日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話Ⅰ「矯正行政と篤志面接活動の意義」 ～刑事施設を中心に～ 矯正局成人矯正課企画官 佐伯由佳 氏</li> <li>・講話Ⅱ「矯正行政と篤志面接活動の意義」 ～少年院を中心に～ 矯正局少年矯正課企画官 山本宏一 氏</li> <li>・講話Ⅳ「篤志面接活動の歴史, 制度と現在の課題」 全国篤志面接委員連盟 理事長 室井誠一</li> <li>・班別討議Ⅰ 8班</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話Ⅲ「面接指導技術」 東京未来大学こども心理学部長 出口保行 氏 二日目</li> <li>・講話Ⅴ「篤志面接活動を経験して」 全篤連副会長 三浦善詔 氏 全篤連常任理事 前田直子 氏</li> <li>・班別討議Ⅱ 8班 前日に続き、全員参加</li> </ul>
--	--	--

4 矯正管区管内篤志面接委員教養訓練を実施した。

地区	日時・場所・参加人員	研修内容
札幌	令和元年11月28日(木) 旭川市 アートホテル旭川 参加者50名 (委員45名, 関係者5名)	「手渡していく愛 三浦綾子から私たちへ」 三浦綾子記念文学館館長(北海学園大学人文学部教授) 田中 綾 氏
仙台	令和元年11月8日(金) 仙台市 仙台ガーデンパレス 参加者43名 (委員38名, 関係者5名)	「少年院出院後の更生と社会貢献について～私の更生並びに保護司となった現在までの経緯と活動について～」 栄廣電設(株)会長, 協力雇用主, 保護司 三浦幸治 氏
東京	令和2年2月4日(火) さいたま市 さいたま新都心合同庁舎2号館5階共用大研修室 参加者55名 (委員53名, 関係者2名)	「実践の経験から共有しよう～再犯防止指導の目的と目標～」 千葉大学社会精神保健教育研究センター 特任講師 東本愛香 氏
名古屋	令和元年9月3日(火) 名古屋市 名古屋合同庁舎第3館7階会議室 参加者72名 (委員69名, 関係者3名)	「依存症と動機付け面接」 予防医療研究所代表 磯村 毅 氏
大阪	令和2年2月7日(金) 大阪市 大阪合同庁舎第4号館4階講堂 参加者117名 (委員112名, 関係者5名)	「コミュニケーションの力～満期釈放前指導導入教育を通して、私が考えたこと, 感じたこと～」 (株)モダンボーイズCOO 元よしもとアドミニストレーション代表取締役 竹中 功 氏

広島	令和2年2月7日(金) 広島市 広島矯正管区ゼミナール室 参加者37名 (委員34名, 関係者3名)	(1)「発達障害についての理解～発達障害を有する被収容者に対する指導・面接・働き掛け等～」 (2)「現状の篤面の活躍の場について」(グループ討議) 広島少年鑑別所地域非行防止調整官 樋口雅明 氏
高松	令和2年2月6日(木) 高松市 高松法務合同庁舎8階 高松矯正管区大会議室 参加者39名 (委員34名, 関係者5名)	「再犯防止への取組と動機付け面接について」 元高松簡易裁判所判事 千矢邦夫 氏
福岡	令和2年2月4日(火) 福岡市 矯正研修所福岡支所第1教室 参加者50名 (委員28名, 関係者22名)	「社会福祉法人白鳩会が取り組む農福連携」 白鳩会常任理事 中村邦子 氏

#### (表彰事業関係)

- 1 従来通り、篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施した。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員に対する法務大臣、矯正管区長、管区管内篤志面接委員協議会会長などの感謝状の授与に際して祝意を表した。

#### (慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬・慰謝を行った。

#### (広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し、内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を令和元年7月、同2年2月に発行した。
- 3 研究会、協議会の記録誌の出版：全国篤志面接委員大会、各管区管内篤志面接委員協議会及び第5回初任者研修会の実施に際し記録誌を発行した。
- 4 篤志面接委員名簿を6年ぶりに改訂し、令和元年7月1日現在の名簿を作成・配布した。
- 5 第14回国連犯罪防止刑事司法会議(京都コンgres)に展示参加するため、展示する英文パネル、配付する英文リーフレット及び缶バッジ等の作成準備を進めた。

#### (事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け、その基礎となる次の点に留意した。
  - (1) 引き続き、税理士と契約し財務の指導を受けるとともに、毎月の予算執行状況を監事に報告するほか、監事による10月までの上半期の中間監査を実施するなど、財務状況の把握を確実にした。
  - (2) 中央研修大会の新聞報道(中外日報)を依頼したほか、FM立川において篤志面接委員

の活動と研修大会に関する広報を依頼するなど、広報活動の積極化に努めた。

## 2 予算執行について

(1) 公益目的事業会計について、J K Aからの補助金が前年度と同額を内示されたことから、地方研修大会の開催及びその準備に必要な経費の効率的・効果的な執行を依頼した。

(2) 賛助会費の配布

(3) 法人会計については、役員報酬の増額が見込まれたため、その他の予算の経費節約に努めた。

### (その他の事業関係)

1 法務省主催の「社会を明るくする運動」に協力をした。

本年度は、前年度と同様に全国矯正展において専用のブースを設け、パンフレットを配布して広報したほか、活動経費の確保の観点からかりんとうの販売を行った。

2 東京都共同募金会主催の、「NHK歳末たすけあい」に協力した。

## 令和元年度 正味財産増減計算書（内訳表）

（平成31年4月1日～令和2年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	302,796	302,796	605,592
基本財産受取利息	302,796	302,796	605,592
受取補助金等	9,443,604	0	9,443,604
受取民間補助金	9,443,604	0	9,443,604
受取寄付金	9,610,000	5,228,500	14,838,500
受取寄付金	9,610,000	5,228,500	14,838,500
雑収益	4,546,300	1,243,774	5,790,074
受取利息	0	36	36
雑収益	4,546,300	1,243,738	5,790,038
経常収益計	23,902,700	6,775,070	30,677,770
(2) 経常費用			
事業費	26,578,550		26,578,550
役員報酬	514,735		514,735
給料手当	2,459,618		2,459,618
臨時雇賃金	75,534		75,534
退職給付費用	147,042		147,042
法定福利費	334,315		334,315
地方研修委託費	10,837,872		10,837,872
会議費	128,217		128,217
旅費交通費	8,768,940		8,768,940
通信運搬費	422,644		422,644
消耗品費	62,184		62,184
印刷製本費	1,082,565		1,082,565
賃借料	136,765		136,765
諸謝金	111,370		111,370
速記費	128,700		128,700
表彰費	193,098		193,098
広報費	1,136,513		1,136,513
租税公課	450		450
支払手数料	26,988		26,988

雑費	11,000		11,000
管理費		6,879,209	6,879,209
役員報酬		1,083,125	1,083,125
給料手当		1,054,122	1,054,122
退職給付費用		63,018	63,018
法定福利費		143,278	143,278
福利厚生費		7,169	7,169
会議費		1,656,367	1,656,367
旅費交通費		1,237,100	1,237,100
通信運搬費		73,690	73,690
慶弔費		19,761	19,761
消耗品費		7,961	7,961
修繕費			0
印刷製本費		1,064,140	1,064,140
賃借料		58,614	58,614
諸謝金		221,918	221,918
租税公課		1,200	1,200
支払手数料		94,244	94,244
雑費		93,502	93,502
経常費用計	26,578,550	6,879,209	33,457,759
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,675,850	△ 104,139	△ 2,779,989
基本財産評価損益等			
評価損益等計			0
当期経常増減額			△ 2,779,989
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額			△ 2,779,989
一般正味財産期首残高			226,115,379
一般正味財産期末残高			223,335,390
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高			223,335,390

## 令和元年度 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,606,250	10,683,132	923,118
未収金	0	0	0
前払金	173	357	△ 184
仮払金	0	282,271	△ 282,271
流動資産合計	11,606,423	10,965,760	640,663
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	207,189,567	210,071,475	△ 2,881,908
基本財産合計	207,189,567	210,071,475	△ 2,881,908
(2) 特定資産			
記念大会準備積立資金	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(3) その他の固定資産			
長期貸付金	4,600,000	5,200,000	△ 600,000
その他の固定資産合計	4,600,000	5,200,000	△ 600,000
固定資産合計	211,789,567	215,271,475	△ 3,481,908
資産合計	223,395,990	226,237,235	△ 2,841,245
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	30,640	62,156	△ 31,516
預り金	29,960	59,700	△ 29,740
流動負債合計	60,600	121,856	△ 61,256
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債合計	60,600	121,856	△ 61,256
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	223,335,390	226,115,379	△ 2,779,989
(うち基本財産への充当額)	(207,189,567)	(210,071,475)	(△ 2,881,908)
正味財産合計	223,335,390	226,115,379	△ 2,779,989
負債及び正味財産合計	223,395,990	226,237,235	△ 2,841,245

# 令和2年度の正味財産増減予算書

## 令和2年度 正味財産増減予算書（総括表）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	613,466	605,592	7,874
基本財産受取利息	613,466	605,592	7,874
受取補助金等	9,400,000	9,000,000	400,000
受取民間補助金	9,400,000	9,000,000	400,000
受取寄付金	15,100,000	15,000,000	100,000
受取寄付金	15,100,000	15,000,000	100,000
雑収益	5,511,000	4,511,000	1,000,000
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	5,510,000	4,510,000	1,000,000
経常収益計	30,624,466	29,116,592	1,507,874
(2) 経常費用			
事業費	27,294,000	24,281,000	3,013,000
役員報酬	452,000	452,000	0
給料手当	2,440,000	2,440,000	0
臨時雇賃金	100,000	100,000	0
退職給付費用	147,000	146,000	1,000
法定福利費	315,000	315,000	0
地方研修委託費	12,000,000	759,000	11,241,000
会議費	200,000	800,000	△ 600,000
旅費交通費	8,050,000	11,360,000	△ 3,310,000
通信運搬費	300,000	450,000	△ 150,000
消耗品費	70,000	120,000	△ 50,000
印刷製本費	1,050,000	3,000,000	△ 1,950,000
賃借料	140,000	1,640,000	△ 1,500,000
諸謝金	120,000	800,000	△ 680,000
速記費	120,000	120,000	0
表彰費	200,000	450,000	△ 250,000

広報費	1,255,000	880,000	375,000
支払手数料	100,000	100,000	0
雑費	235,000	349,000	△ 114,000
管理費	6,504,500	7,717,500	△ 1,213,000
役員報酬	1,325,000	1,325,000	0
給料手当	1,052,000	1,052,000	0
退職給付費用	63,000	62,000	1,000
法定福利費	135,000	135,000	0
福利厚生費	10,000	10,000	0
会議費	500,000	500,000	0
旅費交通費	2,500,000	2,500,000	0
通信運搬費	200,000	280,000	△ 80,000
慶弔費	50,000	50,000	0
消耗品費	30,000	30,000	0
印刷製本費	40,000	1,000,000	△ 960,000
賃借料	60,000	60,000	0
諸謝金	230,000	230,000	0
租税公課	5,000	5,000	0
支払手数料	100,000	150,000	△ 50,000
雑費	204,500	328,500	△ 124,000
経常費用計	33,798,500	31,998,500	1,800,000
当期経常増減額	△ 3,174,034	△ 2,881,908	△ 292,126
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
一般正味財産期首残高	221,022,769	223,904,677	△ 2,881,908
一般正味財産期末残高	217,848,735	221,022,769	△ 3,174,034
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	217,848,735	221,022,769	△ 3,174,034

# 役員・評議員一覧表

令和2年6月22日現在

区 分	理事・監事	評 議 員
会 長 副 会 長		岩 城 光 英 三 浦 善 詔 福 田 紀 夫 内 村 撒母耳 井 上 廣 河 合 幹 雄 坂 井 一 郎 出 合 均 千 葉 紘 子 山 田 義 俊 近 藤 哲 西 俊 六 永 見 光 章 笠 原 和 男 細 川 隆 夫 小 山 定 明 竹 中 樹 松 村 憲 一 中 川 忠 昭 森 伸 子  (以上20名)
理 事 長 副 理 事 長 常 任 理 事 (札幌) (仙台) (東京) (名古屋) (大阪) (広島) (高松) (福岡) 理 事 (札幌) (仙台) (東京) (名古屋) (大阪) (広島) (高松) (福岡)	室 井 誠 一 渡 辺 道 代 富 樫 厚 治 徳 力 賢 隆 佐 藤 良 彦 宮 田 修 大 川 哲 次 岩見屋 健 前 田 直 子 松 田 良 太 大 郷 栄 治 佐 藤 敬 子 阿 部 憲 仁 東 松 磐 樹 野 口 善 國 西 井 一 宜 泉 美 穂 関 谷 静 司  (以上18名)	
監 事 (東京) (大阪)	喜代多 證 顕 福 岡 久  (以上2名)	

○理事・監事の任期 R 2 . 6 . 2 2 から 2 年 間 (令和4年度定時評議員会)

○評議員の任期 H 2 9 . 6 . 1 6 から 4 年 間 (令和3年度定時評議員会)

## 令和2年度第5回国内交流研修旅行の中止のお知らせ

今年度予定をしておりました「第5回国内交流研修旅行（栃木方面）」は、新型コロナウイルス感染に伴い、参加者、関係者の健康・安全面を第一に考慮した結果中止とさせていただきます。楽しみにして下さっていた皆様には、ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。

なお、次年度は研修旅行の順転どおり、令和3年11月8日から2泊3日で九州方面を予定しております。その際はぜひともご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。



撮影：辻 正司（立川拘置所篤志面接委員）

## 令和2年度全国及び各矯正管区管内研修協議会の開催予定

地 区	日 程	場 所	備考
中 央	10月15日(木)	法務省地下大会議室(東京都千代田区)	中止
新任・ リフレッシュ 研修	12月3日(木)・ 4日(金)	法務省地下大会議室(東京都千代田区)	
札 幌	7月16日(木)・ 17日(金)	ANAクラウンプラザホテル千歳 (北海道千歳市)	中止
仙 台	7月3日(金)	ホテル福島グリーンパレス (福島県福島市)	中止
東 京	11月30日(月)	さいたま新都心合同庁舎5階共用大会議 室(埼玉県さいたま市)	
名古屋	11月17日(火)	ANAクラウンプラザホテル (石川県金沢市)	
大 阪	6月18日(木)	ホテルプリムローズ大阪(大阪府大阪市)	中止
広 島	10月28日(水)	ホテルニュータナカ(山口県山口市)	
高 松	11月20日(金)	いよてつ会館(愛媛県松山市)	
福 岡	11月25日(水)・ 26日(木)	ガーデンテラス佐賀 ホテル&マリトピ ア(佐賀県佐賀市)	中止

(注) 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中央の全国大会が中止となったほか、多くの管区協議会においても研修大会の中止を余儀なくされました(備考欄の記載は7月20日現在の状況)。

### その他の研修等 (参考)

○教養訓練研修(各管内協議会で実施) 令和2年10月から令和3年2月

○連盟第2回常任理事会 令和2年12月4日(金) 法務省地下小会議室

○連盟第3回常任理事会 令和3年3月16日(火) 法務省地下小会議室

○連盟第2回理事会 令和2年10月16日(金) 法務省地下小会議室  
(日程等検討中)

○連盟第3回理事会・第2回評議員会 令和3年3月17日(水) 法務省20階第一会議室

# 賛助会員名簿

令和2年7月1日現在

## 施設賛助会員（敬称略）

竹内恵美子（札幌刑務所） 坂田 資宏（月形刑務所）  
石田 道夫（青森刑務所） 青森県保護司会連合会（青森刑務所）  
三浦 慶子（宮城刑務所） (株)正大（宮城刑務所）  
木村 正明（東北少年院） 徳力 芳子（東北少年院） 八幡 則子（東北少年院）  
池田 玄德（栃木刑務所） 倉松 俊弘（栃木刑務所） 黒川 弘照（栃木刑務所）  
小林 一成（栃木刑務所） 横山 幸子（栃木刑務所）  
五十嵐紀典（新潟刑務所） 川上 克義（新潟刑務所） 関口 潔（新潟刑務所）  
井柳 明子（静岡刑務所） 大川 進（静岡刑務所）  
さくら市更生保護女性会（喜連川少年院） 高根沢町更生保護女性会（喜連川少年院）  
廣瀬 裕子（富山刑務所） 追立 涼子（笠松刑務所） 大野 桂子（笠松刑務所）  
大野 朋昭（笠松刑務所） 大野 泰宏（笠松刑務所） 小見山桂子（笠松刑務所）  
小見山蔦雄（笠松刑務所） 曾我部卓郎（笠松刑務所） 辻 慶一（笠松刑務所）  
永田千代美（笠松刑務所） 堀 敦夫（笠松刑務所） 森田 伸宏（笠松刑務所）  
(株)第一興商 岐阜支店（笠松刑務所） 中部事務機(株)（笠松刑務所）  
Rサプライ(株)（笠松刑務所） 伊藤 安信（名古屋刑務所） 小山 祐（名古屋刑務所）  
近藤 義広（名古屋刑務所） 鈴木 克尚（名古屋刑務所） 鳥居 鏝一（名古屋刑務所）  
(有)クオリア（名古屋刑務所） 豊田信用金庫 三好北支店（名古屋刑務所）  
川浦 幸光（湖南学院） 佐野 新一（湖南学院） 吉田 昭生（湖南学院）  
田中小夜子（愛知少年院） 中村 富子（愛知少年院）  
遠藤 康代（瀬戸少年院） 加藤 好江（瀬戸少年院）  
木村百合子（加古川刑務所） 山崎 徹也（加古川刑務所） 山本佐登史（加古川刑務所）  
五島 一代（大阪拘置所） 金光 英子（岡山刑務所） 本郷 亮（岡山刑務所）  
濱田 壽子（美保学園） 前田 耕吾（美保学園） 原 るみ（徳島刑務所）  
吉田 勝一（徳島刑務所） 白井 謙二（高松刑務所） 三宅 正（高松刑務所）  
秋山トヨ子（丸亀少女の家） 福本 英子（丸亀少女の家） 山田 妙子（丸亀少女の家）  
田上 早苗（松山学園） 松本美穂子（松山学園） 伊藤 順子（北九州医療刑務所）  
秋月 敏行（長崎刑務所） 岩下 登（長崎刑務所） 神野 満吉（長崎刑務所）  
出口 喜男（長崎刑務所） 吉田喜久治（長崎刑務所）  
(有)諫早観光ホテル（長崎刑務所） (株)三恵電業ホールディングス（長崎刑務所）  
(株)昭和堂（長崎刑務所） 医療法人にじの会 高原内科循環器科医院（長崎刑務所）  
大野 嗣男（大分刑務所） 小野 秀幸（大分刑務所） 須川 照雄（大分刑務所）  
水智 洋子（大分刑務所） 富士見が丘幼稚園（大分刑務所）  
(有)まるみや（大分刑務所） 光石 健之（福岡拘置所） 光石 玲子（福岡拘置所）  
濱田 吉信（福岡少年院） 古藤 恵子（佐世保学園） 須川 法昭（佐世保学園）  
永尾 俊子（佐世保学園） 水町 宗典（佐世保学園）

本部賛助会員（敬称略）

會田 正和（東京都）	荒井 宏子（愛媛県）	石川 淑子（北海道）
泉 美穂（徳島県）	井上 廣（京都府）	大川 哲次（大阪府）
大塚 啓志（東京都）	大野 文雄（茨城県）	岡本 達也（富山県）
小畑 輝海（東京都）	亀井 史丞（広島県）	川尻 容子（東京都）
古賀常次郎（佐賀県）	近藤 哲城（埼玉県）	坂井 一郎（東京都）
佐藤 良彦（東京都）	澤田 健一（東京都）	清水 充江（愛媛県）
菅原 祥子（愛媛県）	杉浦 道彦（山梨県）	鈴木 祥祐（東京都）
鈴木 壽子（東京都）	大郷 栄治（北海道）	高橋 博（神奈川県）
竹内 正孝（宮城県）	田中 勝彦（愛媛県）	田中 常弘（富山県）
富樫 厚治（北海道）	徳地 昭男（埼玉県）	富山 聡（埼玉県）
中川 文隆（東京都）	中間 敬夫（神奈川県）	名執 雅子（東京都）
南野知恵子（山口県）	濱田 壽子（鳥取県）	平本 喜祿（東京都）
廣瀬 玲子（富山県）	福岡恵美子（愛媛県）	福島 照男（大阪府）
福田 紀夫（東京都）	藤井 亮俊（兵庫県）	藤江 道子（宮城県）
藤代 喜道（千葉県）	古川 高志（埼玉県）	保坂東志男（東京都）
本間 達三（東京都）	前田 直子（愛媛県）	松田 昇（東京都）
松本久仁子（北海道）	宮内 統代（愛媛県）	宮尾 茂（東京都）
村上トモ子（愛媛県）	室井 誠一（東京都）	森田 祥一（東京都）
山中 廣司（東京都）	横田 尤孝（東京都）	吉澤 崇夫（栃木県）
渡辺 道代（東京都）	渡辺 文夫（東京都）	
(株)葵式典（東京都）	エフエムラジオ立川(株)（東京都）	
(株)セレモア（東京都）	(株)随喜産業（東京都）	

支援団体（敬称略）

公益財団法人矯正協会	公益財団法人 J K A	社会福祉法人黎明会
社会福祉法人東京都共同募金会	有限会社矯正サービス	有限会社矯正弘済会

## 新型コロナウイルス感染症について思うこと

全国篤志面接委員連盟副理事長 渡 辺 道 代

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

今期の全国篤志面接委員連盟は会長の交代がありました。長きにわたりご指導くださいました南野会長に心より感謝を申し上げます。いつも全国連盟の研修旅行には必ず参加していただき、その場を慰めてくださいました。我々事務局としてもとても心強かったです。ありがとうございました。

そして今年はオリンピックや京都コンGRESと大きな行事がある予定でしたが、ご存知のように世界を恐怖に陥れた新型コロナウイルスの関係ですべてが延期になりました。事業によっては中止を余儀なくされたものもあります。我々篤志面接委員の面接も中止、各地域で行なわれていた年に1回の協議会も中止や延期に追い込まれてしまいました。

では新型コロナウイルスとはどういうものか、少し調べてみました。

2002年～2003年に日本を除くアジアやカナダを中心に拡大したSARS（サーズ）、2012年にアラビア半島の国々やヨーロッパで感染が拡大し、現在でも患者が断続的に報告されているMERS（マーズ）、この二つの感染症のことを覚えておられる方もいらっしゃるでしょう。実はこの二つの感染症もコロナウイルスなのです。現在世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症はWHOによりCOVID-19（コビッド・ナインティーン）と名付けられ、新たに発見されたウイルスであるSARSコロナウイルス2により引き起こされる急性呼吸器疾患です。今回の発生源は中国とされていますが、それがどうして世界に蔓延したのか。

原因の一つに発生した時期が関わっていると思います。この感染症が発症した時期は中国では春節と言って、中国人が最も大切にしている国中のお祝いの時期なのです。すべての役所をはじめ企業、商店は休業になり、みんな旅行に行きます。ウイルスを持った人が世界に旅行して世界中で感染を広めてしまったと言われています（中国人はあまりそのことに触れてほしくないようですが）。でもこのコロナウイルスのせいで人生が大きく変わった人や、いうなれば世の中の体制が大きく変わったといっても過言ではないと思います。国民から長く愛された志村けんさんや、ドラマや情報番組などで大活躍だった女優の岡江久美子さんも新型コロナウイルスで命を落としました。大変な衝撃を受けたのを今でも覚えています。

戦後初の緊急事態宣言が発出され、長年営業していた老舗旅館も客の激減により閉鎖、庶民の憩いの場だった下町の小さなお店も休業を余儀なくされて店じまいなど、中小企業や小売店にも大きな打撃となっております。仕事の体制にしても満員電車で揺られながら出勤していた毎日が、聞きなれないテレワークという在宅勤務となり、今まで朝晩と土日、祝祭日にしか顔を合わせなかった夫婦が一日中顔を合わせてイライラが募っているというニュースも聞きます。中にはそれが原因で離婚する夫婦もあり、皮肉にもコロナ離婚と呼ばれてしまっているそうで

す。また、子供の学校が一斉に休校になったために、働きにも出られず毎日三度の食事の準備をしなければならなくなったストレスから子供を虐待してしまう事案が増えるなど、とにかく世の中が殺伐としてしまいました。

耳慣れない言葉も最近をよく聞くようになりました。世界的に感染が拡大したことを「パンデミック」と言い、“世界的大流行”や“感染爆発”と訳されます。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている事態のことを「コロナ禍」と言うそうです。初めは読み方が分かりませんでした、「ころなか」と読むそうです。他にも先ほどの「テレワーク」や人との距離を保つ「ソーシャルディスタンス」、最近では「東京アラート」など横文字が並びます。日本人には「在宅勤務を励行し、密閉・密集・密接のいわゆる『三密』を避けて、感染防止に努めましょう」と素直に言われたほうが分かりやすいと思ってしまうのは我々世代ならではでしょうか…。昔から言われていた「家に帰ったらうがい手洗い」は日本人には古くからの習慣として根付いています。最近では世の中が何となく忙しくなって来た為かおろそかにしてしまっている家庭もあるようですが、この習慣が日本の感染爆発を抑えているとも言われています。うがい手洗いの大切さに気付かされたコロナ禍でもあります。

いつまで続くのか、どうなってしまうのかが見えてこない今回のコロナ禍、不安が募るばかりですが、我々にできることと言えばコロナにかからないように注意することだけだと思います。不要不急の外出は控え、自宅で今まで読めなかった本を読んだり、ご無沙汰している方に手紙を書いたり、出来るだけ自宅で自分流の楽しみを見つけて過ごしたいものです。

最後に医療関係の方々をはじめ、今回の新型コロナウイルス対策で日々奮闘されている方々への心からの感謝を忘れずに、このウイルスを撃退する薬の開発をしてくださっている方々にもエールを送りながら、我々一人一人が出来ることを続けて、一日も早い終息を願いたいと思います。

いつの日か皆様と健やかに会することを祈念しつつ、皆様のますますのご健勝を心からお祈り申し上げます。

## 事務局から

### ○令和2年度春の叙勲・褒章について

篤志面接活動の功績が認められ、次の篤志面接委員の方々が褒章または叙勲を受けられました（敬称略）。おめでとうございます。

褒章（藍綬褒章）	杉之内熙泰（喜連川少年院）	石田 詩子（新潟少年学院）
	平賀 淳子（宮川医療少年院）	長洲 真史（和泉学園）
	今井 洋子（岡山刑務所）	
叙勲（瑞宝双光章）	三上 慶子（函館少年刑務所）	添田 公子（帯広少年院）
	大喜多伴子（丸亀少女の家）	山田 妙子（丸亀少女の家）
	水町 宗典（佐世保学園）	

### ○物故者

令和2年2月以降にお亡くなりになった篤志面接委員の方は、次のとおりです。

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

令和2年2月	小林 龍男（月形刑務所）	北本 均（金沢刑務所）
3月	瀬戸口憲幸（鹿児島刑務所）	
6月	西端 春枝（和歌山刑務所）	

**雑記帳** 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が発令され、自宅で自粛しているとき、たまたまスティーブン・スピルバーグ監督のSF映画「宇宙戦争」（トム・クルーズ主演 原題 War of the World 2005）をテレビで見ました。地球にやってきた侵略者は、彼らの戦闘用歩行機に乗り込み、あらゆる街を破壊し焼き尽くし、人間を食料にしていきます。人類は侵略者の圧倒的な破壊力の前に滅びてしまうのかと悲観したその時、突然彼らは次々と自滅していきます。彼らは、人間のつくった兵器によってではなく、地球に生存している微生物・バクテリアに感染して死んでいくのでした。人類は、目に見えない微生物によって多くの犠

牲を払ってきましたが、それとともに体内に免疫を身につけ、このような微生物と共存・共生する権利を得て今日に至っています。そして、これからも地球に生き続けていきます。映画は、そういうことを語りたかったのか、と思いました。

今、世界中の人たちが新型コロナウイルスによる感染症に苦しめられています。しかし、科学や医学の力を借りながらも私たち人類にはやがて免疫や抗体がつくられ、この苦しみから解放される日が必ずやってくる、と確信しています。

会員の皆様とは、今年のご一緒できる日がないかもしれませんが、また、元気に再会できる日のやってくることをお祈りしています。